

## もくじ

えび人 vol.97	2	文化会館	10
今号の表紙	3	相談	11
2月16日～3月16日は		図書館	12
確定申告期間	4	子育て・HUGHUG赤ちゃん	14

### 「広報えびな」の共通マークとルール

日・日にち 期 間 時 間 場 所 対 象 定 員  
内 容 講 師 費 用 持 ち 物 そ の 他 任 期  
条 件 主 催 Eメール ホームページ 問 合 せ  
申 込 み 予 約 制 祝 日・振 替 休 日 を 除 く 休 日

高齢者対象の教室など えびな健康マイレージ対象

市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492海老名市役所〇〇〇課行」で届きます

市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」

## 今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。  
ご協力ありがとうございました。

## 題 字

えびな

自然がいっぱいの海老名がすきです。  
杉久保小学校 三浦維千花さん(9歳)



## 写 真

タイトル：凧あげ  
撮影場所：県立相模三川公園  
撮 影 者：泉在住  
市川 翔さん



(写真上) 何本もの竿を自作してアユ釣りを  
楽しむ根っからの凝り性

(写真中) 家庭菜園のビニールハウスもー  
から手作り

(写真下) 野菜作りは種から育てるこだわり。  
「変わったものを作るのが好きなんだよね」



藤さん。「30年前に作ってあげた凧を  
ずっと飾ってくれてる人もいるんだ  
よ。びっくりしちゃうよね」と頬を緩  
めて笑います。  
「明日は何しようかなって考えてお  
いて、朝ワクワクして起きる。自分が  
楽しければ周りの人も楽しいよね。み  
んなで集まってワイワイするのが一  
番」。舞い上がる凧の下、加藤さんの周  
りにはたくさんの笑顔が輝いていま  
す。

子どもの頃からものづくりが大好  
きな加藤さん。40年前、青少年育成の  
ための凧作り講習会で竹割りを頼まれ  
たことをきっかけに、凧への情熱が高  
まったといいます。凧を作るだけでは  
なく、揚げる楽しさにも心を惹かれ、  
すっかり夢中になりました。凧への情  
熱とこだわりの強さは人一倍。「糸目  
で凧の揚がり方は変わる。完璧なんて  
絶対ない。だから面白いんだよ」  
知人の孫の初節句に贈ったり、大み  
そかに本郷神社へ奉納したり、喜びや  
感謝を得意な凧作りで表現してきた加

## 竹の割れ目から ひろがる笑顔

### 今月のえび人

加藤武久さん  
(本郷在住・82歳)

下河内凧の会の設立メンバー  
で、現在も凧作りの活動を行う。  
「えびな凧揚げまつり」と「和  
凧作り教室」に開始当初から携  
わっている。

## 編集雑記

今号の「えび人」からは自身が大切にしているこだわ  
りが伝わってきました。私が日常で大切にしていること  
は「冬は毎日温かい飲み物を飲む」「寝るだけの日を作る」  
「ときめかない服は手放す」などです。今号の「えび人」の  
ように自分らしい時間を楽しむことで、私も自然と周り  
に笑顔を届けられる人でありたいです。(芹)